

卒業研究・論文タイトル

村岡洋子ゼミナール

- | | |
|-------|----------------------------|
| 糸井知恵 | 「岩滝町の介護保険のレベルについて」 |
| 荻野肇 | 「障害者施設における自治会の組織と活動状況について」 |
| 鹿子木秋野 | 「ホームヘルパーの身分と質について」 |
| 河波洋平 | 「ホームヘルパーと介護保険」 |
| 古和田佳子 | 「徘徊について」 |
| 四方友美 | 「痴呆性老人の介護について」 |
| 西尾朱可 | 「ケア・マネージャーの役割について」 |
| 南田真理 | 「障害者施設における介護について」 |

檀 明ゼミナール

- | | |
|------|--|
| 長田美穂 | 「在来型の特養から新型特養への移行について」
“痴呆性老人にとって住みやすい施設を考える” |
| 小田一人 | 「介護保険の現状とこれからの推移」
“介護保険制度の発展のための処理を考える” |
| 川崎史生 | 「介護理念と介護福祉士の意識から捉える身体拘束」
“身体拘束ゼロを目指して” |
| 河原啓介 | 「痴呆性高齢者の意志を尊重した介護理念」
“失語症の方の適確な要求を理解し、それに応じたより良い介護を考える” |
| 岸田早苗 | 「介護保険制度実施後の施設と要介護の問題について」
“介護福祉士としてのサービスの限界について考える” |
| 倉橋怜依 | 「日本と福祉先進国の介護施策を比較する」
“日本の介護保険での問題点を出し対応策を考える” |
| 笹本陽子 | 「施設利用者の介護の捉え方考え方の違いから日本人に一番望ましい施設を探る」
“痴呆性老人に望ましい生活環境” |

- 塩見千琴 「高齢者になっても地域で自立した生活ができるか」
“理想的な地域社会を目指して”
- 中井隆文 「新基準に照らし合わせた、望ましい特養の研究と設計」
“バリアフリー設計とユニットケアを考える”
- 野瀬山陽子 「私たちの周りの環境のバリアフリーについて調べる」
“福祉先進国であるスウェーデンのバリアフリーと日本のバリアフリーの違いを調べる”
- 松井浩二 「介護認定のしくみについて」
“現在の特養の望ましい型を考える”
- 松尾美里 「日常生活に必要な自助具について」
“人間の生活の衣・食・住の中で、食に関する事での自助具の利用について”

田岡洋子ゼミナール

- 蘆田司 「高齢者の心理 — 家庭生活から施設生活へ —」
- 稲仲美穂 「高齢者の望まれる衣服」
- 大槻知子 「祖母が快適環境生活をするために — ある特別養護老人ホームと自宅を比較 —」
- 高尾恵 「アルツハイマー病（痴呆）についての介護方法」
- 高杉博子 「老年期のころ — 高齢者の癒されるもの・好きなものについて —」
- 福井由恵 「介護施設の存在地域とその利便性 — 望まれる高齢者の快適環境提案 —」
- 藤田美鈴 「日本とスウェーデンの高齢者福祉について」
- 藤本由香 「障害者の生活 — 不便を感じるところの改善策の提案と注意点 —」
- 前田真由美 「高齢者の生活現状調査 — 特に健康について —」
- 正木義久 「ある高齢者に対する介護方法とそれに対する介護者の意識と問題点」
- 宮田由里香 「高齢者の趣味 — 日頃の暮らしと楽しみ方 —」

吉田千秋ゼミナール

1. 日本の食生活の歴史について

程	哲	「平安時代の食生活」
乾	浩	「鎌倉時代の食生活」
唐	素清	「江戸時代の食生活」
呉	限	「明治・大正時代の食生活」

2. 製パン性に関する研究

趙	淑卿	「加熱によるグルテニンタンパク質の脱重合について」
呉	連芳	「酸化剤による脱重合の促進について」

矢埜みどりゼミナール

羅	彬	「勝つための栄養学」
劉	妍	「漬け物考（おふくろの味 おつけもの）」
李	海燕	「食生活の変化と高齢化社会について」
周	小燕	「地理的・文化的要因による中華料理の種類と発展について」

小林千恵子ゼミナール

「身近な健康管理」

有馬	しほ	} 「奇形児について」
金本	珠希	
本折	千沙	
森下	絵梨	
寿	玉梅	「食物アレルギー」
朱	紅艶	「健康管理」
齊	朱静	「健康について」